

1.(株)サタケ見学会(広島大学マスターズ第9回例会)ご案内

新春おめでとうございます。本年も変わることなく、皆様とご家族の一層のご清祥であることをお祈り申し上げます。

お蔭様で、広島大学マスターズも今年6年目を迎えることができました。今年は新たに、広島大学の教養教育にも参画し、教養科目「平和科目」に、マスターズ会員による「平和と人間」前後期1科目ずつを開講することになりました。これまで東広島市を中心に、市民や児童への啓蒙活動に力を入れてきましたが、広島大学とも、若い学生を対象とする教育という面で提携してゆく重要な年になります。もう一つのウィングが揃いました。よろしくご協力をお願いします。

さて、第9回例会を、(株)サタケの本社工場や研究所を見学する会として開催します。同社は、広島大学東広島キャンパスにある「サタケメモリアルホール」の主要寄付者であり、つとに私たちにもなじみの深い会社ですが、精米機をはじめとする穀類加工機械の生産販売にかけて世界一のシェアを誇る、地元東広島市が世界に誇る企業です。

同社は創業者佐竹利一氏が1898年動力精米機を考案して以来、米、麦、トウモロコシ等におよぶ、世界中の人々の主食である穀類の研究開発を世界的視野ですすめ、その穀類加工機械の製作からはじめて食品加工の技術革新まで、人々の口に入る食のプロセスの一貫性を追及してきました。また調理しやすい、食べやすいという観点から、無洗米やお湯をかけただけでゴハンができるマジックライスといった加工品も開発してきました。近年、その近代精穀技術は、他の産業機械分野にもおよび、高始動特性のモーターの開発・製造にも取り組み、六本木ヒルズの防災設備や東北新幹線の車両にも採用されています。<http://www.satake-japan.co.jp/ja/about/>

また第2代社長利彦氏は、精穀技術の開発の一方で、「サタケンチャ・リュウキュウエンシス」の発見をはじめ、ヤシの学術研究に関して世界的権威として知られ、その世界各国から集められたコレクションは、本社ビルに併設された、総ガラスばりのすばらしい椰子園で鑑賞することができます。

この機会にご家族・友人お誘い合わせの上、多数ご参加ください。

サタケ見学会(広島大学マスターズ第9回例会)

【日時】2011年2月9日(水)14:00~16:00

【集合】13:50 サタケ本社玄関前(東広島市西条西本町2-30)

13時45分頃、西条駅前では乗用の車を準備しておきます。

【見学会】サタケ本社(サタケクリスタルラボラトリーほか)、椰子園他

【申込み】2011年2月2日までに、氏名(同伴者氏名も)と連絡先(メールアドレス、電話番号等)を明記して、下記黒川正流幹事宛にお申し込みください。

e-mail: kurokawa@hiroshima-u.ac.jp Fax: 082-426-1504(Fax専用)

【駐車場】会社敷地内、入ってすぐ右手(守衛所にひとこと声をかけて)

ただし、懇親会に参加される方は車を置いて来てください。

2. 早春懇親会のご案内

第1頁記載の見学会の終了後、新春をいっしょに寿ぐ会をしませんか。「早春懇親会」を下記のとおり開催します。当日は、旧暦正月7日、人日ともよばれる七草の節句にあたります。春の芽吹きを感じ取るこの日です。見学会に来られなかった方の、懇親会だけのご参加も大歓迎です。

早春懇親会

【日時】2011年2月9日(水) 17:00~19:00

【会場】櫻(けやき)

西条岡町1-16, ホテル・ユーカリ1F(ふく政の斜め前, 駅寄り)

電話: 082-421-3005

<http://fkweb.jp/keyaki/>

【会費】5,000円

【申込み】2011年2月2日までに、氏名と連絡先を明記して黒川正流幹事(メールアドレス等は第1頁参照。)までお申し込みください。

3. 市民講座「くらしの中の無線」は、まだ聴講可能です

平成22年度の市民講座は、お蔭様で「はじめてのドイツ語」(講師:岡崎忠弘会員)、「旅のドイツ語」(講師:岡崎会員)、「野っばら探検講座」(講師:宗岡洋二郎会員、安藤忠男会員、沖村雄二会員、西村清巳会員)等が好評時に終わりました。

同じく22年度の市民講座で、井上宣邦会員による「くらしの中の無線」は、まだこれから聴講可能です。現代は情報化時代と言われます。その情報化の歴史と意義をきちんと整理して、次代にバトンタッチすることは、大変「タメになる」仕事だと考えます。井上会員は、長く電機関係畑で活躍され、電気工学、無線分野を専攻されてこられました。この企画のことを、お友達にもお誘いいただき、ご自身もぜひ参加してください。

市民講座「くらしの中の無線」

【講師】井上宣邦会員

2月5日(土) 情報を伝える歴史「アナログからデジタルの世界」

2月12日(土) マルチメディアの時代「放送」

2月19日(土) マルチメディアの時代「通信」

2月26日(土) マルチメディアの時代「パッケージ」

【実施時間】13:30~15:00

【実施場所】市民文化センター研修室(サンスクエア2F)

【聴講申込み先】東広島市教育委員会生涯学習課

TEL 082-422-1610

4 . 広島大学の新たな教養教育、平和科目に参加します

広島大学では平成 23 年度から第 2 期中期計画を開始します。その大きな柱に教養教育の充実がうたわれ、新たに平和科目（選択必修 2 単位）が加わりました。来年度東広島、広島市東千田両キャンパスでは 25 科目の「平和科目」群が開講され、まず一年生 2500 人がその中の 1 科目を受講します。この科目群に広島大学マスターズと昨年 8 月に設立された広島大学マスターズ広島は、それぞれ前・後期 1 科目ずつ、計 4 科目授業を担当します。

4 科目は、「平和と人間」を統一名称とし、その後 A、B、C、D をつけて、科目区分を行いました。「平和と人間 A」（前期）と「平和と人間 B」（後期）は広大マスターズが担当し、東広島キャンパスで開講します。開講時間は月曜日 1・2 時限です。

定年退職した大学OB（主に名誉教授）が組織的に大学の正規授業に参画してゆくということは全国に例を見ない、きわめて画期的な実験です。その意味で是が非でも成功させる必要があります。

つとに浅原学長は広大学生に対する平和教育の必要を痛感され、平和科目の前身の企画として、**学長の宿題「平和モニュメント見学とレポート」**を学生たちに課してきました。3 年間全部で 5000 本あまりのレポートがよせられました。今回の平和科目はこの宿題をカリキュラムに発展させるものです。広大の学生が国内外に留学し、「平和」が問われたとき、きちんとなぜ私たちが「平和」を求めるのか、科学的データに基づいて話すことが出来る。広大で学んだ留学生たちが「ヒロシマ」を客観的データに基づいて学習する、そのような授業となることを願っています。

私たちの「平和と人間」について、前期は自然系にウェイトをおき、人類が生存を維持するためにどのような物質的問題に直面し、それを解決してゆくようとしているのかを問い、後期は文化系にウェイトをおき、平和を実現するために精神、心の連帯をどう築いてゆくべきかを考えたいと思います。以下、広島大学教養教育本部に提出している全体シラバスを再録します（授業概要一部省略）。

平和と人間 A - 環境と生物の未来へ -

< 授業概要 >

1) 私たちの原点は、人類最初の原爆投下によって都市壊滅した広島にある。だが平和を求める心は人類に共通し、普遍的である。

2) 産業革命によって、生産と消費、労働と生活、伝統と文化のシステムが大きく変化し、私たちは国家 = 国民の枠の中に組み込まれる。今から 200 年以上前、「神なき時代の最初の哲学者」とよばれるカントは、平和は人間が自ら創設されるものと説いた。

広島投下の原子爆弾とは何であったか。そこに生きた者の視点から被爆の実相と都市の破壊を考え、原子爆弾の構造、その威力等を知り、その後の核兵器の歴史と現実を考える。

現代の世界平和は、戦争回避だけではない。人口増加、物質の偏在、食糧の不足、環境の劣化の諸困難にいかにか立ち向かうか。環境破壊の克服、新エネルギーの模索、バイオテクノロジー、感染と危機の管理、真の意味での生物多様性の社会を考える。

3) 「平和」を国際的レベルにおける共同意志にどう高めてゆくか、それを考えてゆきたい。

< 講義目次 >

第 1 講 ガイダンス 授業の狙い、講師紹介（金田晋・元総合科学部）

- 第2講 平和と哲学 - カントと平和の哲学 (金田晋・元総合科学部)
- 第3講 広島投下の原子爆弾の威力とその後の核兵器の開発 (松田正典・元総合科学部)
- 第4講 広島で被爆して平和を考える (植木研介・元文学研究科)
- 第5講 近代産業と平和 英国資本主義とクェイカー教徒 (友田卓爾・元総合科学部)
- 第6講 生物多様性 (山本義雄・元生物圏科学研究科)
- 第7講 地球環境の変貌 (安藤忠男・元生物圏科学研究科)
- 第8講 30年後の地球環境 (安藤忠男・元生物圏科学研究科)
- 第9講 石油代替エネルギーと環境 (鈴木寛一・元生物圏科学研究科)
- 第10講 水産資源の国際問題 (中川平介・元生物圏科学研究科)
- 第11講 バイオテクノロジーの歴史と最新技術 (平田敏文・元理学研究科)
- 第12講 次世代のバイオテクノロジー (平田敏文・元理学研究科)
- 第13講 感染症と危機管理 (松田治男・元生物圏科学研究科)
- 第14講 平和と国際経済学 (佐野進策・元経済学部)
- 第15講 平和の哲学 現代の諸問題と哲学の視点 (金田晋・元総合科学部)
- 第16講 試験

平和と人間B (後期) - 人間と文化の未来へ -

< 授業概要 > < 略 >

2) 戦争は国家の論理が優先する。その下で、人びとは自らの生き方を問い、相手国に住んでその苦難を経験し、なお平和の生活を望んだ。また芸術やスポーツを介して国境を超えて人びとの連帯をもとめてきた。

3) 平和は人間が自ら創設してゆかなければならない (イマヌエル・カント)。「平和」を国際的レベルにおける共同意志にどう高めてゆくか、それを考えてゆきたい。

< 講義目次 >

- 第1講 ガイダンス、授業の狙い、講師紹介 (金田晋・元総合科学部)
- 第2講 平和と哲学 - カントと平和の哲学 (金田晋・元総合科学部)
- 第3講 広島投下の原子爆弾の威力とその後の核兵器の開発 (松田正典・元総合科学部)
- 第4講 広島で被爆して平和を考える (植木研介・元文学研究科)
- 第5講 近代産業と平和 英国資本主義とクェイカー教徒 - (友田卓爾・元総合科学部)
- 第6講 環境から見た人類の生長とその限界 (安藤忠男・元生物圏科学研究科)
- 第7講 バイオテクノロジーと食の安全 (池上晋・元生物圏科学研究科)
- 第8講 バイオテクノロジーと生物多様性 (池上晋・元生物圏科学研究科)
- 第9講 戦争と倫理 (水田英実・元文学研究科)
- 第10講 戦争と人間 比治山に眠るフランス兵士の墓 (原野昇・元文学研究科)
- 第11講 戦争と人間 広島のアメリカ移民の歴史 (山代宏道・元文学研究科)
- 第12講 平和と美術 (難波平人・元教育学研究科)
- 第13講 平和とスポーツ 祭典とオリンピック (渡部和彦・元教育学研究科)
- 第14講 平和と国際経済学 (佐野進策・元経済学部)
- 第15講 平和の哲学 現代の諸問題と哲学の視点 (金田晋・元総合科学部)
- 第16講 試験

5 . 平成 23 年度市民講座が揃いました

平成 23 年度市民講座（主催：東広島市教育委員会生涯学習課、共催：広島大学マスタース）の市民講座のラインアップが揃いました。参加者からは好評で、年々参加者が増加し、リピーターも増えているのですが、まだまだ知名度が少なく宣伝力も弱いので、ご近所の方、友人、知人の方に、宣伝をよろしくお願いします。（日時と場所はいずれも予定です。）

1) はじめてのフランス語（講師：原野 昇）

日時：6月13日、27日、7月11日、25日。いずれも13:30～15:00

会場：東広島市市民文化センター研修室（サンスクエア2階）

はじめてフランス語を学ぶ人を対象に、ビデオを利用しながら、簡単な日常会話と文法の基礎を学びます。

2) 身のまわりの化学

日時：9月3日、10日、17日、24日。いずれも13:30～15:00

会場：東広島市市民文化センター研修室（サンスクエア2階）

私たちが日常生活で出会う物質や身近な現象を取り上げて、次のテーマで最新の化学情報をわかりやすく紹介します。

第1回（9月3日）「くらしの中の香り」（講師：平田敏文）

第2回（9月10日）「洗剤の話」（講師：三吉克彦）

第3回（9月17日）「生理活性天然物の話」（講師：深宮齋彦）

第4回（9月24日）「ひとと磁石」（講師：谷本能文）

3) 親子で楽しむ龍王島探検（仮称）

日時：9月11日、25日。いずれも9:30～15:00

会場：東広島市安芸津町龍王島

募集人数：親子15組。参加費：1回500円（詳細は教育委員会生涯学習課に問い合わせして下さい。）

第1回（9月11日）「龍王島の動物・植物探検」（講師：西村清巳）

島には、一見内陸と変わらない動物・植物が生息しています。しかし良く見ると、長い間厳しい自然にさらされて、島の環境に適した姿に変容していたりします。中には、万葉集に詠まれた植物も多く、ひょっとして万葉人が島に上陸して歌を1句ものにしたかもしれません。龍王島を知り尽くし、海岸性の植物・海藻類を使ったヘルシーな昼食を作ってみましょう。

第2回（9月25日）「龍王島の磯の生き物」（講師：中川平介）

合併によって東広島市にも海ができました。海には食卓で見る生き物以外にも沢山の生き物がいます。この探検で海の生き物に興味が高まれば幸いです。

4) ヨーロッパの昔と今 - 酒からみる

日時：9月26日、10月3日、17日、24日。いずれも13:30～15:00

会場：東広島市市民文化センター研修室（サンスクエア2階）

人が酒を飲むのか、酒が人をのむのか。酒からみるヨーロッパ文化論。

第1回（9月26日）「酒の効用は変化するのか」（講師：山代宏道）

第2回（10月3日）「フランス中世文学にみる酒」（講師：原野 昇）

第3回(10月17日)「酒と真理はどちらが強い」(講師:水田英実)

第4回(10月24日)「ドイツ中世文学にみる酒」(講師:岡崎忠弘)

5)旅のフランス語(講師:原野 昇)

日時:2012年1月16日、30日、2月13日、27日。いずれも13:30~15:00

会場:東広島市市民文化センター研修室(サンスクエア2階)

ビデオを利用して旅行のいろいろな場面を想定しながら、フランス語でのコミュニケーションの力をつけながら、文法も学びます。

6.平成23年度出前講座も揃いました

東広島市教育委員会が実施している生涯学習事業に、受講者が希望する公民館などの施設に出張して行う「出前講座」があります。平成23年度も、会員に募集しましたところ、以下の会員が申し出てくださいました。次年度に向けて、もっと開講したいと思いますので、すすんで事務局(担当:原野昇幹事)まで申し出て下さい。

- (1)安藤忠男:「地球温暖化と私たちの暮らし」
- (2)安藤忠男:「カーボン・ダイエット実践法~地球にやさしい暮らし方~」
- (3)小方 厚:ドレミの科学
- (4)沖村雄二:東広島市の大地
- (5)金田 晋:美術と生活
- (6)川上英之:食品衛生 食中毒とその予防
- (7)中川平介:水産物最近の話題
- (8)難波平人:世界の美術紀行
- (9)西村清巳:親と子の健康づくり教室
- (10)西村清巳:竹トンボ教室
- (11)西村清巳:ドングリ教室
- (12)原野 昇:世界のなかのフランス語
- (13)山本義雄:生物多様性と環境問題
- (14)渡部和彦:わたなべ博士の健康・スポーツセミナー:「実践ウォーキング入門」
- (15)平田敏文:香りの科学

広島大学マスタース事務局 :

〒739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3F

広島大学サテライトオフィス内

Eメール: masters@hiroshima-u.ac.jp

http://www.geocities.jp/hirodai_ob/index.html (市民版)

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/> (会員版)